

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成25年3月28日発行



4月の主な行事予定

4月16日（火）

中部地区人権・同和教育担当者会（中部総合事務所 201会議室）

4月17日（水）

中部地区社会体育担当者会（中部総合事務所 201会議室）

4月19日（金）

中部地区社会教育担当者会（中部総合事務所 301会議室）

4月24日（水）

中部地区人権教育行政担当者会（倉吉体育文化会館）

とっとり子育て親育ちプログラムのススメ 赤碕小学校で実施しました

平成25年2月14日（木）に、とっとり子育て親育ちプログラムのファシリテーターとして赤碕小学校に行きました。

入学説明会の後、40名程の新入生の保護者を対象に「もうすぐ入学、何をしたらいいの？」という内容で、プログラムをしました。このプログラムは、入学、入園を前にした保護者が疑問に思っていることを出し合い、それを先生に聞いてみるというものです。

保護者からは、「PTA役員の決め方は？」
「もしも、お漏らししたときは？」
「放課後の活動はどのようなものがありますか？」
など様々な質問があり、校長先生に答えていただきました。

もともと、顔見知りの保護者が多かったこと、兄弟が既に入学している先輩保護者も比較的多かったこともあり、なごやかにプログラムは進行しました。



プログラムを実施している様子



「とっとり子育て親育ちプログラム」の特徴

中部地区の社会教育における「家庭教育支援」の取組の多くは、保護者を対象とした講演会など啓発を中心としたものが多いように思います。しかし、この取組では、「届けたい親に届かない」という課題が残ります。

「とっとり子育て親育ちプログラム」は、幼児期から小学生の子どもをもつ親の集まり等で、子育ての悩みや課題を題材に、ワークショップや話し合いなどの楽しい時間を共有することで、親同士のつながりを深め、家庭教育について学びあう仲間づくりを進めるものです。

P T A活動等でも親同士のつながりが希薄になっていると言われていています。ワークショップの最初のアイスブレイクが、一緒に学ぶ雰囲気をつくり、「参加」「尊重」「守秘」の3つのルールが、安心して学べる環境をつくれます。そのため、親同士の仲間づくりの一つの方法として効果的です。

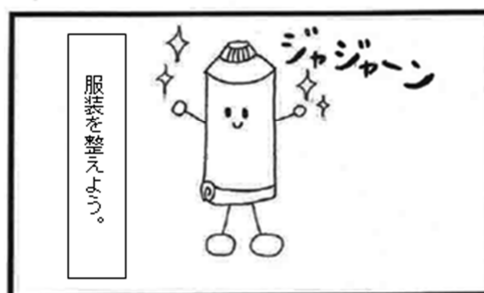
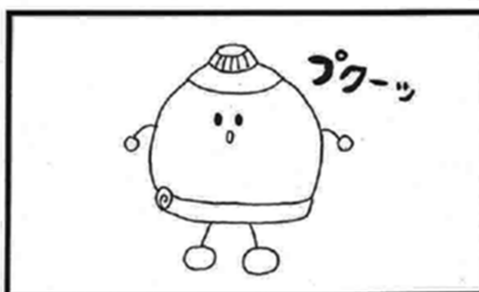
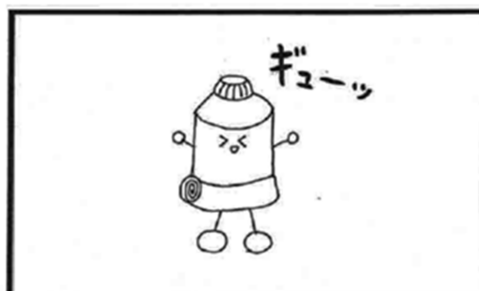
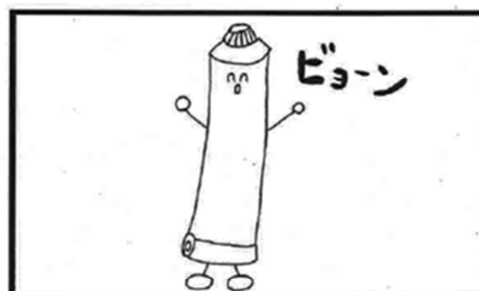
また、行政、園、学校からのアプローチでは、届かなかった親、届きにくかった親にも、親同士のつながりのなかで届く可能性が広がります。

来年度の家庭・地域教育課の事業では、「とっとり子育て親育ちプログラム」の思春期版の発行、ファシリテーター養成講座の実施が予定されています。ぜひ、この講座に参加し、ファシリテーターとして活躍していただきたいと思います。

また、「とっとり子育て親育ちプログラム」の活用を御検討ください。私が、ファシリテーターとしてみなさんのところへうかがうこともあるかもしれません。



ちゅうぶくん



【あしがき】

年度末異動で、琴の浦高等特別支援学校に赴任することになりました。社会教育からは離れてしまいましたが、中部教育局で4年間学んだことを生かす取組を続けていこうと思っています。(大本)

中部教育局
社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail daimotoy@pref.tottori.jp